

注 記 事 項

特定事業活動等促進経過勘定

.重要な会計方針

1.引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

役職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

(3)保証債務損失引当金

債務保証に係る損失に備えるため、被保証先の財政状態を勘案し、損失負担見積額を計上しております。

2.キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は手元現金及び随時引き出し可能な預金からなっております。

3.行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成17年3月末利回りを参考に1.320%で計算しております。

4.消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

.キャッシュ・フロー計算書注記

1.資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	611,080,891 円
定期預金	607,000,000 円
資金期末残高	<u>4,080,891 円</u>

2.当年度に産業基盤整備基金から承継した資産及び負債の主な内訳は次の通りである。また、承継により増加した政府出資金及び欠損金は、それぞれ500,000,000円及び131,755,538円であります。

承継により引継いだ資産・負債	(単位:円)
流動資産	610,677,399
固定資産	150,000,000
資産合計	<u>760,677,399</u>
流動負債	1,720,437
固定負債	390,712,500
負債合計	<u>392,432,937</u>

.重要な債務負担行為
債務保証

1,016,136,000 円

.重要な後発事象
該当事項はありません。